

あかしこども財団だより

AKASHI CHILD FOUNDATION NEWS

- 第15号 -

あかしこども財団の
取組を紹介する
季刊誌です



すべてのこどもの健やかな育ちを応援!

① こども支援担当

- 「こどもの居場所づくり事業」
食事をきっかけとして、すべてのこどもの居場所、気づきの地域拠点、多世代交流の場として、こども食堂の活動が広がっていくよう、運営者の方々をしっかり支援していきます。
- 「地域活動支援事業」
子どもたちの成長や学び、子育てを応援する地域活動団体を支援します。また、絵本や児童書に囲まれ、子どもたちの感受性や想像力を育み、親たちがリラックスして交流できるこども夢文庫を支援し、ボランティア養成講座や研修会の開催等、子ども支援活動推進に関わる人材のコーディネートを行います。
- 「子育て応援企業連携事業」
妊娠期や子育て中の方にやさしい取組を行っている「あかし子育て応援企業」と一体となり、子ども・子育てを応援するまちづくりを進めます。
- 「こどもの居場所設置・運営事業」
学校になじめないなどの様々な悩みを抱える子ども一人ひとりが、生きる力を育むことができる「あかしフリースペース☆トロッコ」の運営支援を行います。
- 「こどもの権利擁護事業」
児童相談所に一時保護されたすべての子どもと速やかに面会し、子どもの声を聴き、必要に応じて意見を通知するなど、子どもの権利擁護を図ります。

② 放課後児童クラブ担当

- 「放課後児童クラブの運営」
市内の全小学校の敷地内に放課後児童クラブを設置し、保護者が就業等により昼間家庭にいない児童等を対象として、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全な育成を図ります。
- 「放課後児童支援員認定資格研修」
放課後児童支援員になるために必要な研修を実施します。



令和4年度「児童福祉週間」 の実施について

国では、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発を行っています。

令和4年度「児童福祉週間」標語
「見つけたよ 広がる未来とつかむ夢」

少子化や核家族化の進行に伴う育児不安や子育ての孤立化に加えて、児童虐待の増加、インターネットやSNSの普及による子どもへの悪影響など、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。この機会に、子どもたちがいきいきと、夢や希望を持って幸せに生きていくため、私たちができることを考えてみませんか。



こども食堂へのたくさんの ご支援ありがとうございます

| ご提供者 | こども食堂への提供品 |
|-------------------|--------------------------|
| 株式会社創味様 | 白花豆、金時豆、レンコンきんぴら、ごぼうふくめ煮 |
| セトマキ 国際特許商標事務所様 | レトルトカレー |
| 兵庫県 漁業共同組合連合会様 | 味付け海苔、焼き海苔、ちりめん炊き込みご飯の素 |
| 一般財団法人 こどもサポート財団様 | スライスチーズ、シュレットチーズ、バター |



こども 食堂 レポート

今回は、明石小学校区の「明石しおさいライオンズこども食堂」に行ってきました。

・寿司職人さんと一緒にお寿司づくりに挑戦しました！みんなお寿司屋さんになりきって一生懸命作ることができました。自分で握ったお寿司はお店で食べるお寿司よりおいしかったかな？

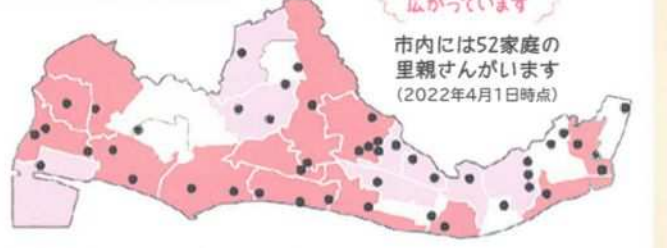


講師：寿司戦隊ニギルンジャー 隊長 國次昭さん
各地でお寿司を作る喜びや料理を通じて生きる力を学べる体験教室を開催しています。

次はどここの食堂に行こうかな・・・次回もお楽しみに♪

あかし里親100%プロジェクト

すべての子どもたちが、家庭での愛情やぬくもりを感じながら育つことができるよう、里親家庭を身近に増やす取り組みを進めています。

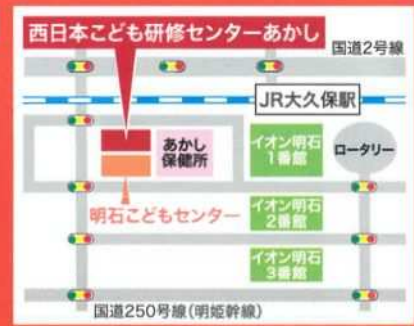


★里親相談会を毎月開催しています。(無料、予約不要)
次回開催は以下のとおりです。ぜひ、お気軽にお越しください。
●6月9日(木) 14時～16時
●明石こどもセンター(明石市大久保町ゆりのき通1-4-7)
●お問い合わせ/あかし里親センター
TEL: 078-935-9720 FAX: 078-935-9721
メール: akashi.satooya@ainote.main.jp

一般財団法人 あかしこども財団

〒674-0068
明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7西日本こども研修センターあかし
電話 078-920-9670
FAX 078-920-9671
メール info@akashi-kodomo-zaidan.jp
HP https://akashi-kodomo-zaidan.jp/

所在地



③ 研修センター担当



西日本こども研修センターあかし
センター長 藤林 武史



2022年4月、西日本こども研修センターあかしのセンター長として、藤林武史氏が就任いたしました。藤林氏は、精神科医師であり、前職は、福岡市の児童相談所長として18年間の勤務経験があります。今までの経験を活かし、当研修センターの研修・事業の充実を目指します。



西日本こども研修センターあかしは、全国の自治体、児童相談所、児童福祉施設等をはじめとする子ども虐待対応機関や施設の職員の方々等を対象に、子ども虐待対応に関する高度専門的な研修（虐待・思春期問題情報研修センター事業）を実施します。



西日本こども研修センターあかしの主な事業

○「子ども虐待対応研修事業」

児童相談所等子ども虐待関連業務に関わる専門職員を対象に、子どもや家庭への支援における高度な実践力を有する指導者を育成し、新たな知見や技術の普及を通じて、子ども虐待及び思春期問題への支援の質の向上を図ることを目的として研修を実施します。



○「市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置等を支援する アドバイザー派遣事業」

子ども虐待の予防・防止や子どもと家族の福祉に関する支援を担う市区町村に、子ども家庭総合支援拠点の設置・運営ができるよう、アドバイザーを派遣して、支援を行う事業を実施します。

○「児童相談所児童福祉司スーパーバイザーを育成する立場にある 指導的職員へのブロック研修事業」

児童相談所の新任児童福祉司等の指導教育を担う児童福祉司スーパーバイザーを育成する指導的職員を対象に実施する研修です。

ソーシャルワークの質を向上するため、「アセスメントの質の向上」「子どもの最善の利益に立った支援方針の決定」「組織内コミュニケーションの活性化」の3点を研修のねらいとして、全国7ブロックで実施します。

